

「『藍で繋がる伊達愛プロジェクト』について」

北海道伊達高等養護学校
教頭 鷹尾 英 弥

1 はじめに

本校は、職業学科を設置する知的障がい特別支援学校です。開校は昭和56年（1981年）で、高等部のみを置いています。本校では、知的障がいを有する生徒が、卒業後の職業自立に必要な専門的な知識や技能を習得するための教育活動を行っています。

本校の学校教育目標は、「自ら学ぶ力を高め 豊かな心とたくましい体を育み 目標に向かって働く力を身に付け 新しい時代の社会に貢献する生徒を育てる」であり、一人一人の実態や特性に応じて、持てる力を最大限に発揮し、自己の可能性にチャレンジする人間の育成を目指し、教務及び舍務が連携して指導を行っています。

本校では、以前から伊達市の古き良き伝統や文化を知るために、農業科を中心に伊達市の伝統工芸の一つである「藍染め」を研究してきました。しかし、本校の教育課程及び教場（農場）の関係上、藍や藍染めを題材として取り組むことができる教育活動には限界があり、藍の生産量の向上や伝統技法による染料発酵及び染めなどを展開することが困難な状況でした。そこで、本校と伊達市が連携して藍の播種、苗の栽培から収穫、そして藍染めまで一緒に取り組むプロジェクトを立ち上げました。

2 「藍で繋がる伊達愛プロジェクト」の内容

令和3年度（2021年度）から取り組んでいる「藍で繋がる伊達愛プロジェクト」（以下、「本プロジェクト」）の一環として、次のような取組を行いました。

(1) 「藍育ファンディング」

クラウドファンディング（目的に賛同する人が出資し、できた製品やサービスを返礼としてもらうシステム）からヒントを得た取組で、趣旨に賛同してくださる地域の方々に藍の苗を無料配布し、自宅の菜園等で育てていただき、藍染料の原料となる葉を収穫して本校にお持ちいただくものです。

(2) スクールキャラクターの募集・決定

全校的に本プロジェクトに取り組む意識を醸成するため、生徒会が主体となり全校生徒にスクールキャラクターの案を募りました。40点を超える応募から、全校生徒の投票により、藍の葉をあしらった藍色の兜を身に付けた「サムアイ君」（「侍（さむらい）」と「藍（あい）」から命名）がスクールキャラクターに選ばれました。こうした取組を通じて、生徒・職員全体に藍を活動の柱とする本プロジェクトが明確になり、その後、各学科での作業学習で「藍」や「藍染め」にちなんだ製品作りを行ったり、「藍育ファンディング」や藍の定植・収穫に3年間で全校的に取組んだりすることに前向きな機運を醸成することができました。

(3) 「藍」や「藍染め」にちなんだ各学科での製品作り

元々藍の栽培等に取り組んでいた農業科以外の学科（園芸科・窯業科・木工科・工業科・家庭総合科）でも製品作りに「藍」や「藍染め」にちなんだものを取り入れ、全学科で本プロジェクトに取り組みしました。

(4) 全校生徒による共同学習

上記(1)の「藍育ファンディング」には本校第3学年の生徒、藍の定植（育った苗を農場（畑）に植え替える）には第2学年の生徒、藍の葉の収穫には第1学年の生徒が取り組みました。



スクールキャラクター
「サムアイ君」

(5) 北海道外の高等学校との交流学习

藍の栽培・染料作り等の取組を行っている徳島県の高等学校と、ウェブ会議システムを使って交流学习を行いました。

(6) 地域の店舗・団体との連携

地域の飲食店が提供する「伊達市のふるさと納税返礼品の藍染色」や「菓子舗への藍の葉のパウダー提供」、ボランティア団体が製作する「がん患者用のタオル帽子の藍染色」等で連携をしました。

3 まとめ

「藍育ファンディング」については、伊達市教育委員会や報道機関等との連携により、本プロジェクトの開始時から3年連続で実施することができました。実施3年目の今年度は、初年度の苗の配布ポット数220ポットに対し、360ポットを配布することができ、地域の方々と交流を深めてきました。

本校の取組及び伊達市の伝統文化としての藍栽培・藍染めに対する認知度は向上し、今年度は、個人での賛同者だけではなく、福祉施設や保育所、小・中学校等、幅広い地域の方々にも藍の栽培・収穫を体験・協力していただきました。

これにより、藍染料の原材料として使える葉の量を増やすことができました。その結果、本プロジェクト開始から2年目（「藍育ファンディング」初年度にいただいた葉を本校の農場で収穫した葉に加え、より多くの葉の量で発酵させた最初の年）に本藍染液の天然発酵による製造に成功し、3年目となる今年度は昨年度の2倍の量の本藍染液製造に成功しました。

また、従来は各学科がそれぞれ別の作業学習を行っているなど、行事を除いては各学科及び各学年の一体感がやや希薄な状況が課題でした。しかし、「藍」という共通のテーマを用いた様々な製品作りや定植・収穫への参加を通して、全校的な一体感を生み、かつ、生徒が今まで経験したことのない作業や地域との関わりを行えるようになり、生徒の社会性の向上に繋がりました。本校生徒からは、新たな活動にチャレンジする楽しさや充実感を感じているなどの声が上がっています。

本プロジェクトは、活動の内容や参加の形、予算付けなどの面において改善が必要な点があることから、より充実した教育活動を展開できるよう、これまでの成果を踏まえ、今後さらに持続可能な本校と地域の連携の在り方を探る必要があります。

今後とも御理解と御協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。



藍の苗の無料配布会の様子



地域の皆様からの藍の生育写真



藍染料（天然発酵）の完成



本藍染め製品の乾燥



北海道伊達高等養護学校

住所 〒052-0012 伊達市松ヶ枝町 105-13

電話 0142-25-5115



本校のWebページ
を御覧ください。